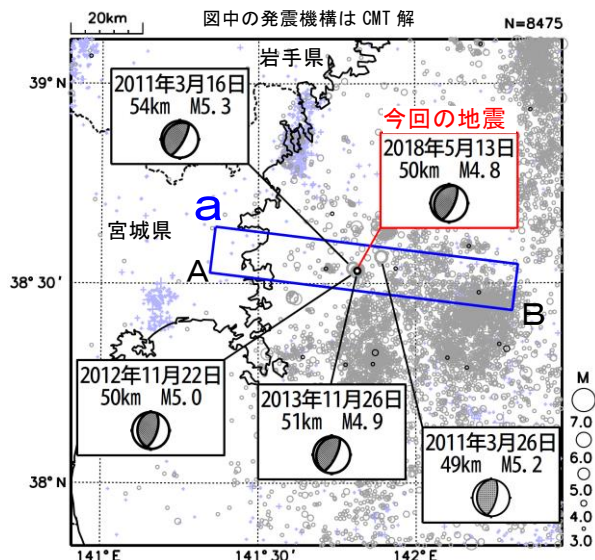


5月13日 宮城県沖の地震

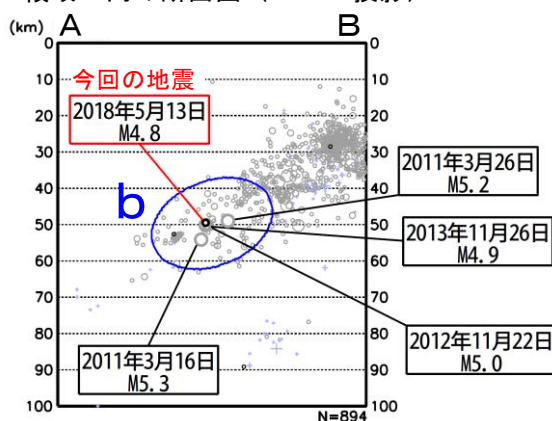
震央分布図

(1997年10月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2018年5月に発生した地震を濃い○で表示



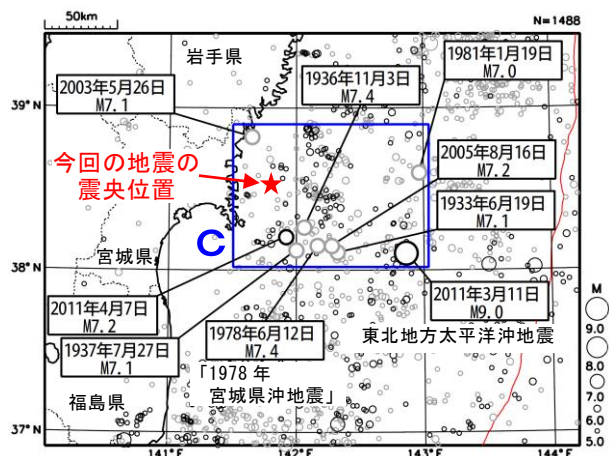
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を薄い○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○で表示

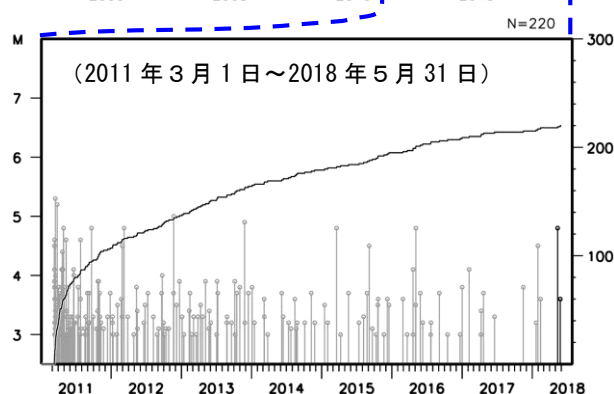
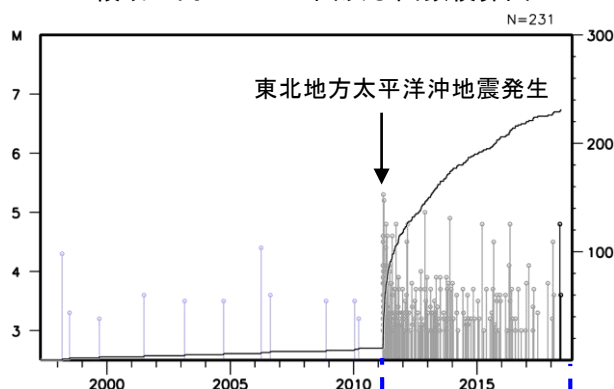


2018年5月13日01時49分に宮城県沖の深さ50kmでM4.8の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が数回発生していたが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震 (以下、東北地方太平洋沖地震)」の発生以降に活発化し、M5程度の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M7.0以上の地震が9回発生しており、「1978年宮城県沖地震」 (M7.4、最大震度5) では、死者28人、負傷者1325人、住家全壊1183棟等の被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

